

箱処理は灌注で  
「楽」しましょう!

イネドロオウムシをズバッと退治。

新規有効成分シアトラリプロールが昆虫の筋肉に作用して、速やかに活動を停止させ、死に至らしめます。



水稲育苗箱灌注処理殺虫剤

# バズ®

## 顆粒水和剤

# バス® 顆粒水和剤

●有効成分：シアントラニプロロール…37.5%

●人畜毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

## 特長

1. イネドロオウムシ、イネミズゾウムシに加え、チョウ目害虫フタオビコヤガにも高い効果を発揮します。
2. 既存剤に効果が低下したイネドロオウムシにも有効です。
3. 速やかに食害・活動を停止させます。
4. 浸透移行性に優れた有効成分が速やかに根から吸収され、長期間殺虫効果を示します。
5. 育苗箱灌注処理剤なので作業の省力化が図れます。

### 適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニプロロールを含む農薬の総使用回数
稲(箱育苗)	フタオビコヤガ	1000倍	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り0.5ℓ	は種時 (覆土前) ～移植当日	1回	灌注	1回
	イネドロオウムシ イネミズゾウムシ	2000倍	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り1ℓ	は種時 (覆土前)			

### 上手な使い方

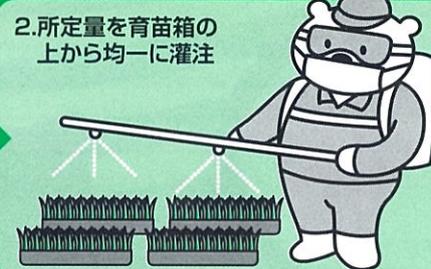
効果を安定させるため「移植3日前～移植当日」の使用をお勧めします。

**1. 希釈液を作る**

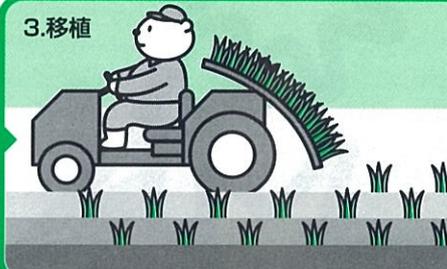


本剤(100g)を水(100ℓ)に入れ、十分に溶かします。

**2. 所定量を育苗箱の上から均一に灌注**



**3. 移植**



※いもち病、縞葉枯病防除には、必要に応じて有効な薬剤との同時防除をお勧めします。

### 試験成績

#### ◆試験1. イネドロオウムシ



- 発生状況：少発生 ●品種：キヌヒカリ(中苗移植) ●移植日：5月20日 ●処理日：5月20日
- 処理方法：バス顆粒水和剤は、薬液0.5ℓ/箱を苗の上から灌注した。
- 調査方法：処理47日後に、1区30株×3連制の食害程度を調査し、食害度を算出した。

#### ◆試験2. フタオビコヤガ



- 発生状況：少発生 ●品種：コシヒカリ ●移植日：5月11日(稚苗) ●処理日：5月11日
- 処理方法：バス顆粒水和剤は、薬液0.5ℓ/箱を苗の上から灌注した。
- 調査方法：処理52日後に、1区50株×3か所の食害葉数を調査した。

### 効果・薬害等の注意

- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 本田の整地が不均整な場合は、薬害を生じやすいので、代かきは丁寧に行い、移植後田面が露出しないように注意してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

### 安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●防除日誌を記載しましょう。

本資料は2018年1月現在の知見に基づき作成しています。 1507(18-1)